



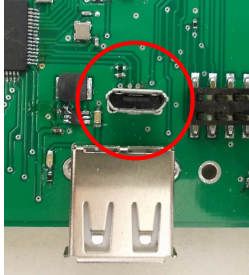
SECTION 11 : L P / A N 中継機

特徴

- TS02Eシリーズのループバック(LP)とアンサーバック(AN)の通信を中継します。
- 連結台数は、最大3段になります。

ブラウザ画面による設定

1-a. パソコンと接続(USB)

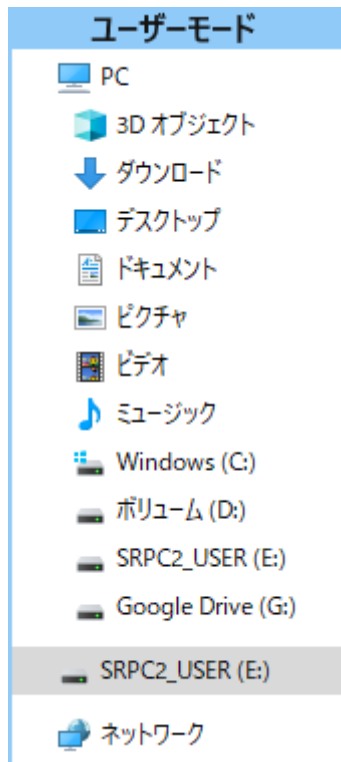


左写真のUSBコネクタ(USB Micro-B)とWindowsパソコンをUSBケーブルで接続してください。下記のデバイスドライバが自動で起動します。電源は入れたままで構いません。

USB-CDC / USB-MSD / USB-RNDIS

Windowsパソコン以外に接続される場合には、上記のデバイスドライバがインストールされていない場合があります。

パソコンに接続した時に、USBメモリを接続した時と同じようにフォルダ画面が表示されます。なお、お使いの環境によっては自動では表示されない場合もあります。

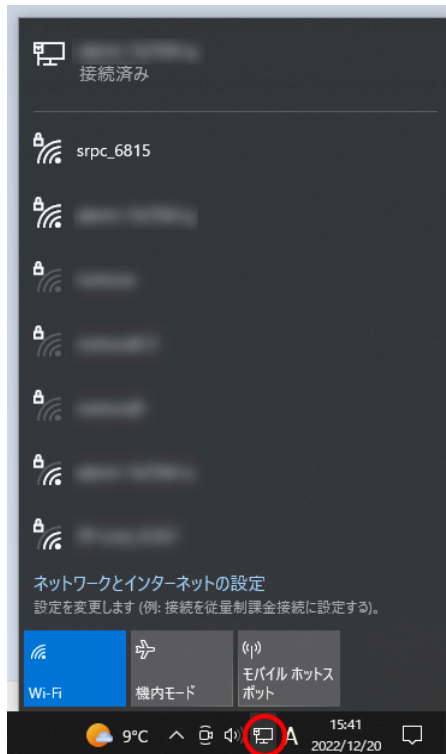


SRPC2がEドライブ(SRPC2_USER)として認識されている場合

このフォルダ画面は、今回は使用しないので閉じてください。

1-b. パソコンと接続(WiFi)

srpc2のwifiは、電源投入後60分間だけ有効になっています(設定で変更可)。電源を投入してから60分以内に作業を完了する必要があります。

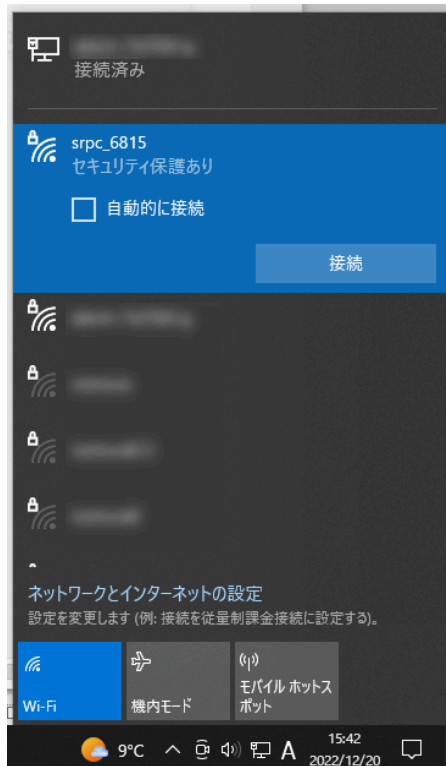


パソコン画面の右下の赤丸をクリックすると、現在の検知できているWiFiのアクセスポイントの一覧が表示されます。

その中に「**srpc_XXXX**」というアクセスポイントがあります。XXXXは、srpc2のHW IDになります。srpc2のHW IDは、製品情報のページで確認できます。

「srpc_XXXX」の項目をクリックすると、表示が下写真のように変化します。

なお、表示名は「NIF設定」で変更することができます。



「接続」ボタンを押すと、パスワードの入力を求められます。工場出荷時のパスワードは、「**nomuraeng**」になります。

「接続」の表示が「切断」になれば、WiFi接続が確立できたことになります。

なお、パスワードは「NIF設定」で変更することができます。

2. ブラウザを起動

USB接続

<http://10.130.11.1> 左のリンクをクリックしてください。自動でブラウザ画面が表示されます。表示されない場合、お使いのパソコンにインストールされているブラウザ(Edge、Chrome等)を起動し、URLの項目に<http://10.130.11.1>と入力してください。

10.130.11.1というアドレスは、変更することができます。もし、変更している場合には文章を置き換えてください。

WiFi接続

<http://10.130.22.1> 左のリンクをクリックしてください。自動でブラウザ画面が表示されます。表示されない場合、お使いのパソコンにインストールされているブラウザ(Edge、Chrome等)を起動し、URLの項目に<http://10.130.22.1>と入力してください。

10.130.22.1というアドレスは、変更することができます。もし、変更している場合には文章を置き換えてください。

SRPC2	
稼働状態	稼働状態
基本設定	現在の状況
アップロード	ソーラー電圧 1728 mV
スケジュール	バッテリー電圧 3280 mV
WAN設定	バッテリー充電電流 0 mA
LAN設定	バッテリー放電電流 15 mA
PAN設定	消費電流 15 mA
NIF設定	基板温度 27.00 °C
IF設定	ローバッテリー電圧 3100 mV(温度補正後)
製品情報	ローバッテリー解除 3200 mV(温度補正後)
	本日の状況
	バッテリー充電量 0 mAh
	バッテリー放電量 0 mAh
	消費電流量 0 mAh

上写真の画面が表示されることを確認してください。

3. LAN設定

左メニューの「LAN設定」をクリックすると、下写真の画面が表示されます。「搭載されていません」と表示される場合には、製品情報で「LAN」の項目に「TS02EJ mdm4」または「TS02EJ mdm4 LDM」が設定されているか、確認してください。設定されていない場合、お使いのSRPC2にはLANモジュールが搭載されていないため、中継機能を使用することができません。

SRPC2

稼働状態	LAN設定
基本設定	TS02EJ MDM4
アップロード	TS02 ID 1E65
スケジュール	通信チャンネルグループ <input type="text" value="1"/>
WAN設定	中継機能 <input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない
LAN設定	中継機番号 <input type="text" value="1"/> (1~50まで,99:番号指定なし)
PAN設定	受信信号強度
NIF設定	データタイプ <input type="text" value="旧SRPC"/>
IF設定	<input type="button" value="更新のみ"/> <input type="button" value="保存&更新"/>
拡張機能	
製品情報	

各項目の設定が完了したら、一番下の「更新のみ」か「保存&更新」ボタンを押してください。「更新のみ」ボタンで設定した場合には、電源を切ると設定した内容が破棄されます。「保存&更新」ボタンで設定した場合には、電源を切っても設定した内容は破棄されずに、次回の電源オン時の初期値になります。

LAN設定の画面

TS02 ID

SRPC2に搭載されている無線モジュールのIDが表示されます。

通信チャンネルグループ

429MHz帯の無線モジュールの通信チャンネルグループを設定します。ループバックまたはアンサーバックで使用する送受信機と同じ通信チャンネルグループに設定する必要があります。通信チャンネルグループが一致していない場合、通信することができません。

中継機を1台で使用される場合は、送信機の通信チャンネルグループを変更すると、自動で中継機の通信チャンネルグループも変更されます。ただし、無線通信を利用して中継機の設定を行うため、送信機が中継機と通信できる距離、または変更前の通信チャンネルグループが一致している必要があります。

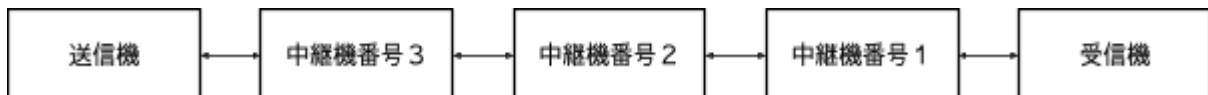
中継機を2台以上で使用される場合には、送信機の通信チャンネルグループを変更しても、自動で中継機の通信チャンネルグループは変更されません。ブラウザ画面を使用して、直接中継機の通信チャンネルグループを変更してください。

中継機能

中継機能を「使用する」を選択してください。「使用する」を選択すると、「中継機番号」の項目が表示されます。

中継機番号

ループバックまたはアンサーバックの中継機は、最大3段まで使用できます。よって、中継器番号は、1～3の何れかを設定してください。中継器番号によって配置が変わるので注意してください。中継機番号が大きい方を送信機側に設置してください。



受信信号強度

送信機または受信機からの送信された無線信号強度を表示します。中継した無線信号しか表示されません。

受信信号強度	ID6820:-75dBm
	ID2BAA:-75dBm

上記のように表示された場合、無線モジュール(ID:6820)から送信された無線信号強度が-75dBm以上、無線モジュール(ID:2BAA)から送信された無線信号強度が-75dBm以上ということになります。

-75dBmより強い値は、全て-75dBmとして表示されます。この値が、-110dBm以上なら安定して使用することができます。

データタイプ

データタイプは、「IBSRPC」を選択してください。

変更履歴

2024/02/29 Rev1.0

新規作成